

では、始めさせていただきます。今日は、私の専門とは全然違うのですけれども、宝塚歌劇団についてお話をさせていただきます。私は、大阪で NPO 法人認知症の人とみんなのサポートセンターの代表をしています沖田と申します。

宝塚歌劇団については20年くらい通っているのですが、このコロナになりまして、なかなか劇場にも行きづらくなりまして、観劇回数は減ったのですけれども、このお正月には行ってきました。

この宝塚歌劇団というのは、昭和3年、1914年に初めての公演をされたそうです。現在100年以上の歴史がありまして、2022年は108年となるそうです。

今も人気を集めていると思うのですけれども、宝塚歌劇団は兵庫県宝塚市にある宝塚大劇場と、東京都千代田区にある東京宝塚大劇場を中心に通年公演しています。

宝塚市にはもう一つ中くらいの劇場で、宝塚バウホールというホールもありまして、そこらは若手の育成の場所などに使われています。

各組による公演で毎年100万人以上の観客を動員するそうです。

1階席と2階席もあります。2階席でお正月公演を見ましたが、大変見やすく2階席から見る楽しみというのがあります。

座席数は2550あるそうです。で、小さなホールは526。それでも526あります。

そして聴覚に障害のあるお客様に対してのサービスというのがあります。宝塚大劇場では聴覚に障害のあるお客様を対象として、鑑賞サポートタブレットというのを貸出しているそうです。今回、このお仕事をいただいて聴覚障害のある方にどう楽しんでいたかのかなっていうことを少し疑問に思っ調べてみましたので、こういうことを知ることができて良かったです。

このタブレットの貸し出しについては、障害者手帳の提示をすれば無料だそうですので、ぜひ宝塚歌劇を楽しんでなかった方にも、こういう機会に楽しんでいただけたらいいなと思いました。

ご利用を希望される方は必ず観劇日の2日前までに、水曜日が定休日ですので、お休みを除いて、それまでに、お問い合わせフォームから申し込むそうです。また、利用するタブレット端末には光漏れ防止処理をされているそうです。劇場は舞台にはスポットライトが当たっていますけれども、客席は真っ暗ですのでどうするのかなあと思っていました。私たちがスマホなど全部スイッチを切るのも、このタブレットの光ってというのはどうなるのかなと思っていましたら光漏れ防止処理をしているそうです。

そして、また、トラブル防止のためにご利用のお客様の周辺のお客様に対して劇場スタッフがその事情をお話ししてくださるそうなので、気兼ねなく利用できるのではないかなと思っています。

また、難聴のお客様については、音声補助イヤホンも借りられるそうです。うちの母なんかもちょっと耳が遠くなりまして聞きにくいので利用したことがありますが、こちらのほうは有料になります。

で、宝塚大劇場だけだそうです。

音声補助イヤホンの貸し出しは、双眼鏡とかオペラグラスの貸し出しも以前はやってたのですが、コロナで双眼鏡の貸し出しは今はやってないのですが、音声補助イヤホンの貸し出しはやっているそうです。母が使ったときに私もちょっと試してみたのですが、歌舞伎みたいな感じとはちょっと違うかな。歌舞伎はすべていろいろ講釈をしてくださいますけれども、ほとんどは舞台の音声聞きやすいというものだったと思います。これはレンタル料500円と保証料5000円を預けなければいけません。保証料は返却時に返していただきますので、レンタル代500円で利用することができるというものです。